



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観
建物名称	加賀屋中学校西校舎棟増築その他工事	
建設地	住之江区西加賀屋2丁目	
建築用途	中学校	
建築主	大阪市長	
設計者	都市整備局企画部	
敷地面積	15,347.65 m ²	
建築面積	1,120.10 m ²	
延床面積	3,634.27 m ²	
構造/階数	RC造 / 地上4階	
完了年(予定)	2029年7月	

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

B+
BEE=1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

環境品質 G
環境負荷 L

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

ラベル表示 **有**

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質
Qのスコア= 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1

音環境	2.6
温熱環境	3.0
光・視環境	3.3
空気質環境	3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

機能性	3.0
耐用性・信頼性	2.9
対応性・更新性	3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.5

生物環境	2.0
まちなみ・景観	3.0
地域性・アメニティ	2.5

LR 環境負荷低減性

LRのスコア= 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.9

建物外皮の熱負荷	5.0
自然エネルギー	2.0
設備システム効率化	4.3
効率的運用	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1

水資源保護	3.0
非再生材料の使用削減	3.0
汚染物質回避	3.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

地球温暖化への配慮	3.5
地域環境への配慮	2.5
周辺環境への配慮	3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 増築校舎のグラウンド側からは、塔屋を含めた階段部分と隣り合う手洗いスペース部分を曲面とすることで、ファサードとして特徴づけています。		その他 特になし。
Q1 室内環境 各教室に大きな窓を設けることで、自然光など自然エネルギーを活かした環境としています。教室の各窓はカーテンを設けており、空調・換気設備とあわせて快適な環境を維持できる計画としています。	Q2 サービス性能 耐震性は建築基準法の1.25倍を見込んでおり、安全性に配慮しています。廊下には天井を張らず、共用部からの設備メンテナンス等が容易にできます。	Q3 室外環境(敷地内) 道路側に生垣・植栽を設け、地域に寄与する緑化計画としています。また、周辺道路歩行者から室外機が直接見えないように、2階屋上には目隠しパネルを設けています。
LR1 エネルギー 屋根は外断熱を施し、エネルギー負荷の軽減を図っています。	LR2 資源・マテリアル 内部の間仕切壁は、耐震壁ほかRC造部分を除いてLGS下地壁を用いています。また、教室の廊下側は学校間仕切(スクールパーティション)とすることで、将来の教室改修時にも再利用しやすい計画としています。	LR3 敷地外環境 給食用食材搬入車両やメンテナンス車両が周辺の交通に影響を与えないような外構計画としています。また、グラウンドと道路を隔てるように建物を配置し、土や砂の飛散が周囲に影響しないように配慮しています。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.2

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.5
配慮事項	ライフサイクルCO2排出率が一般的な建物に対して約86%となっている。	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	1.0
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	2.0
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	2.0
配慮事項	特になし。	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	5.0
配慮事項	屋根の外断熱により熱負荷を抑制している。	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	4.3
配慮事項	特になし。	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること（新築時）
（基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること）

外皮性能	住宅部分（品確法等級）	非住宅部分[BPI][BPI _m]	
	-（相当）	0.79	
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEIm]	住宅部分[BEI]	非住宅部分[BEI][BEIm]
	0.67	-	0.67